

2017年11月7日
東日本旅客鉄道株式会社

東京駅丸の内駅前広場の供用開始について

- 東日本旅客鉄道株式会社では、日本の首都東京の顔にふさわしい多彩な魅力と先進の機能をもった駅として、東京駅周辺地区の都市空間整備を進めてきました。
- 歴史と文化が感じられる丸の内地区の中心的存在となる東京駅丸の内駅舎（重要文化財指定）の保存・復原工事の完成（2012年10月）に引き続き、その丸の内駅舎とともに本地区の象徴空間となる丸の内駅前広場の整備を推進してきました。
- 丸の内駅前広場につきましては、2014年8月より工事を進めてまいりましたが、2017年12月7日（木）から全面供用を開始いたします。

1. 供用開始

丸の内駅前広場は段階的に供用を開始してまいりましたが、2017年12月7日（木）に全面供用を開始いたします。

2. 整備概要（別紙参照）

東京都と連携し、広場中央部に大きな歩行者空間「丸の内中央広場」、その南北に交通広場を配置した駅前広場を整備しました。

(1) 「丸の内中央広場」 中央部歩行者空間

「丸の内中央広場」は、緑陰豊かなケヤキの列植、行幸通りとデザイン的な統一を図った舗装や照明デザイン等により、丸の内駅舎とともに日本を代表する都市景観を創出し、東京駅周辺の都市観光の一役を担います。

- 舗装計画 行幸通りとのデザインの一体性に配慮し、白を基調とした格調高い御影石舗装としています。
- 植栽計画 皇居前広場へつながる軸線を意識し、樹形が美しく緑陰豊かなケヤキを列植しています。
また、植栽への散水は、丸の内駅舎の排水を浄化処理した再利用水を用いています。
- 照明計画 デザイン性の高い3灯式のポール照明をケヤキ植栽と平行に配置しています。広場は、明るすぎない照明とし、ライトアップされる丸の内駅舎を際立たせています。
- その他 約1,200㎡の芝生と水景（水深5mm程度、夏場のみ）により、夏場の路面温度上昇を抑制し、安らぎと清涼感のある広場としています。

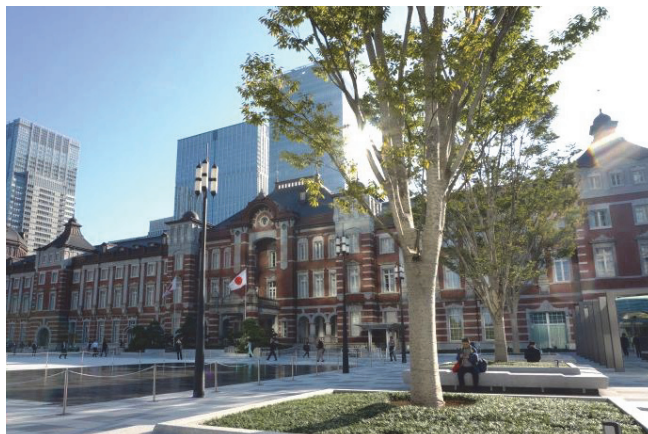
(2)交通広場（南部・北部）

交通広場（南部・北部）は、路線バスやタクシー等の交通結節機能を集約するとともに、四季を彩る植栽等による修景を行います。

- 配置計画 広場内を横切るように大きな部分を占めていた都道を広場外周に再整備（都市計画道路幹線街路補助97・98号線）し、丸の内中央広場の南北に路線バス・タクシー等の交通結節機能を集約します。
- 植栽計画 日本のセントラルステーションに相応しく、日本の豊かな四季を彩るサクラやモミジなどの木々を植えています。
- 舗装計画 歩道部は、丸の内中央広場と同じ御影石舗装を採用しています。
- その他 総武・横須賀線東京地下駅の換気塔をはじめ、各種施設物等についてはグレー調の仕上げとするなど、周辺の景観に配慮した修景を行います。

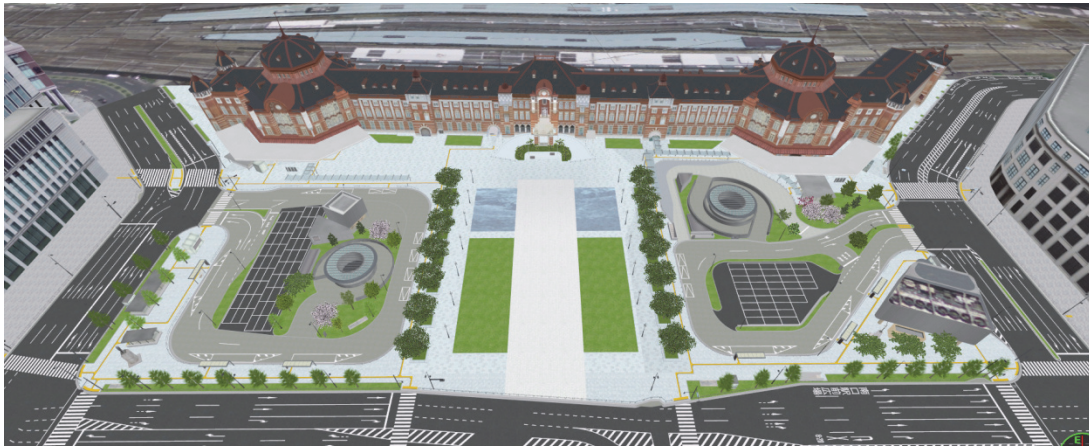


[丸の内中央広場：写真 2017年10月撮影]



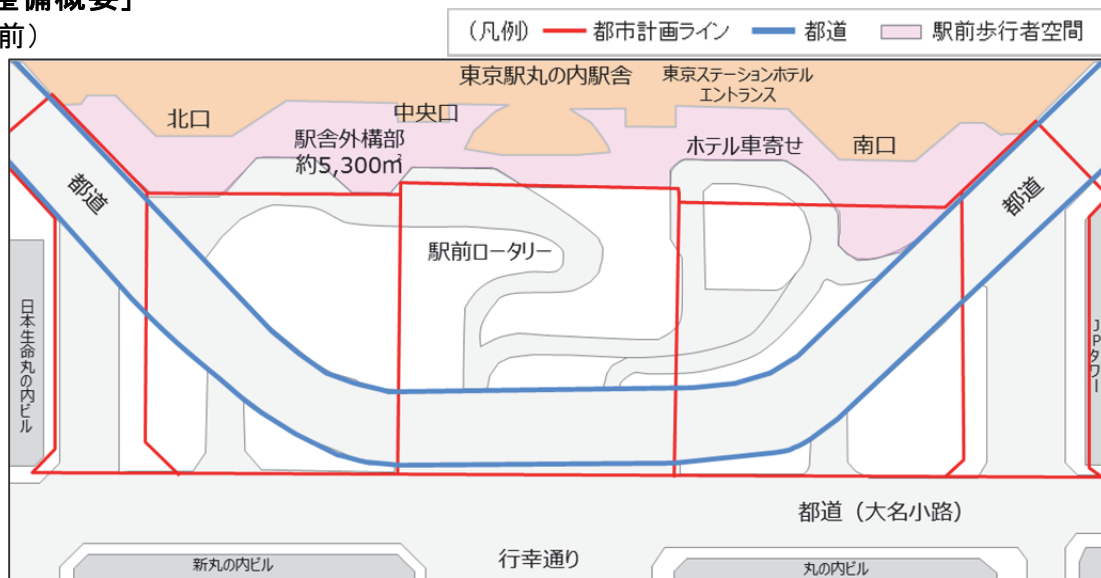
[ケヤキ列植とポール照明：写真 2017年10月撮影]

[広場整備イメージ]

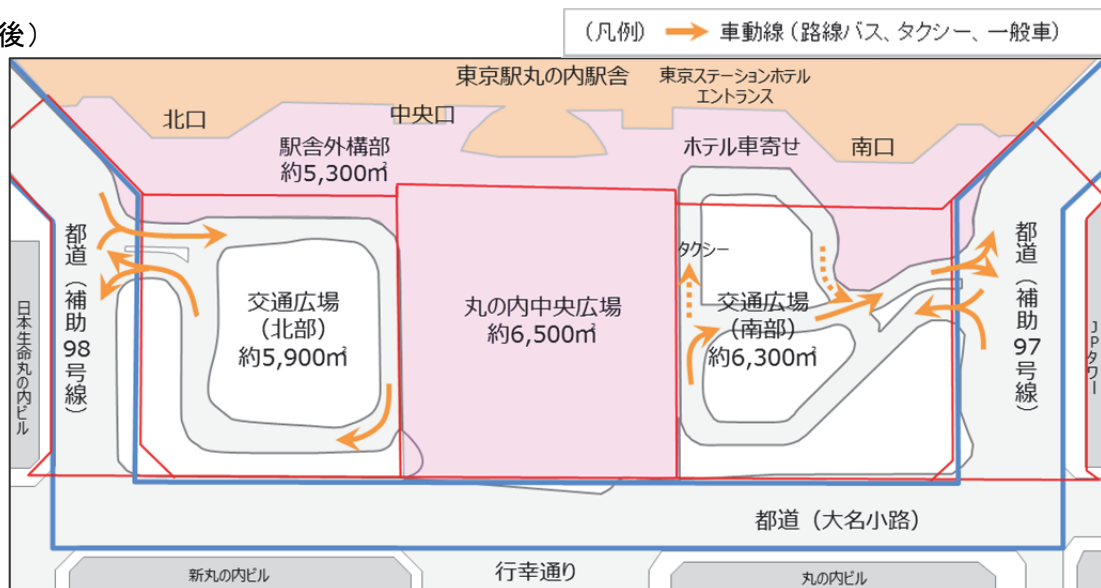


[広場整備概要]

(整備前)



(整備後)



※本資料にあるパース・図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。